

国際ロータリー第2840地区 第5期 地区戦略計画(2026-2029年)(案)

1. はじめに：第1期から第4期までの変遷と第5期の意義

国際ロータリー第2840地区は、第1期から第4期にわたる戦略計画の遂行を通じ、クラブと地区が一体となって地域社会に永続的な変化をもたらす奉仕の歴史を積み重ねてきました。私たちは100年以上にわたり、職業人としての高い倫理基準と奉仕の理念を中核として継承・発展させてきた誇り高い組織です。

第5期地区戦略計画（2026 - 2029 年）は、これまでの DLP と CLP による元気なクラブづくりという強固な基盤の上に、変化の速度が増す現代社会への「適応力」を高め、組織の持続可能性を確固たるものにすることを目的としています。

人口構成の変化やテクノロジーの進化を柔軟に受け入れ、奉仕の理念とその実践を次世代へと繋ぐことは、健全なクラブと地区を維持するために不可欠なプロセスです。私たちはこれまでの地区運営の歴史を踏まえながら未来を積極的に受け入れ、地域社会に永続的な変化をもたらすための持続可能なアプローチを追求します。

2. ビジョン：革新とパートナーシップで未来を拓く

地域と共に「変化」を生み出す持続可能なクラブの実現

第2840地区は、これまでの伝統を尊びつつも、硬直化した形式にとらわれない「革新(Innovation)」を恐れません。地域社会の真のニーズを汲み取り、多様な団体やローターアクトとの強固な「パートナーシップ」を築くことで、一過性の奉仕に留まらない、永続的なインパクトを社会にもたらしめます。

「変化」をもたらす源泉は、私たち自身の中にあります。「人づくりは自分づくり」を原点とし、会員一人ひとりが成長し、多様な価値観を尊重し合うことでクラブはより魅力的な場所となります。若い世代の感性を取り入れ、組織に新しい風を吹き込むことで、10年後、20年後も地域に必要とされ続ける「持続可能なクラブ」として、私たちは共に未来を切り拓いていきます。

3. 優先事項に基づく具体的行動計画

ロータリーの行動計画の四つの優先事項に基づき、第2840地区内クラブの地域における存在価値を最大化する具体的行動を展開します。

3.1 より大きなインパクトをもたらす

奉仕プロジェクトの成果を測定・分析する能力を高めることで、プロジェクトの質を向上させ、永続的な変化を証拠に基づいて実証します。世界規模の優先事項であるポリオ根絶活動を完遂するため地区を挙げた寄付と啓発活動を継続し、その過程で得られたパートナーシップの知見を他の重点分野にも活用します。地域社会の真のニーズを反映した奉仕活動を実施し、そのインパクトをデータで示すことで、ロータリーの価値を社会に広く伝播させます。

3.2 参加者の基盤を広げる

多様な層を惹きつけるため、戦略期間内に会員純増 100 名及びクラブの新設を必達目標として掲げます。この目標達成のため、RI 細則に規定された「衛星クラブ (Satellite Club)」の設置や、主にオンラインで活動する「オンラインクラブ」の形態を積極的に導入し、多様なライフスタイルに対応した入会の機会を提供します。年齢、ジェンダー、背景の多様性を尊重した会員基盤を構築し、ロータリーブランドへの理解を高めることで、行動を起こす人びとのコミュニティを拡大します。

3.3 参加者の積極的なかわりを促す

全参加者が「期待を超える体験」を得られるよう、一人ひとりのニーズを深く理解し、パーソナルな成長とプロフェッショナルなつながりを築く機会を最大化します。具体的には、地区主催のリーダーシップ育成セミナーやラーニングの機会を拡充し、会員が組織にとどまり続けたいと思える価値ある体験を提供します。参加型活動を通じて、会員間の親睦を深め、奉仕への意欲を維持・向上させる環境を整備します。

3.4 適応力を高める

地区の運営・統括構造を合理化し、組織のスリム化を図り、より効率的で柔軟な意思決定プロセスを構築します。意思決定の場において多様な考え方を育むとともに、DX を最大限に活用して事務作業を迅速化・簡素化します。変化する社会環境に迅速に適応するため、組織の柔軟なガバナンスを実現します。

3.5 財団・米山への協力

第 2840 地区は、奉仕活動の源泉である以下の寄付目標を掲げ、全会員の協力により達成を目指します。

- ロータリー財団への支援
 - 年次基金への寄付 : 1 人あたり 150 ドル以上
 - ポリオプラスへの寄付 : 1 人あたり 30 ドル以上
- 米山記念奨学会への支援
 - 普通寄付および特別寄付 : 1 人あたり 16,000 円以上